

市立大町山岳博物館／大町登山案内人組合創立100周年記念事業実行委員会 共同企画展

大町登山案内人組合創立100周年記念

北アルプスの百年

瀬慎太郎と登山案内人たち

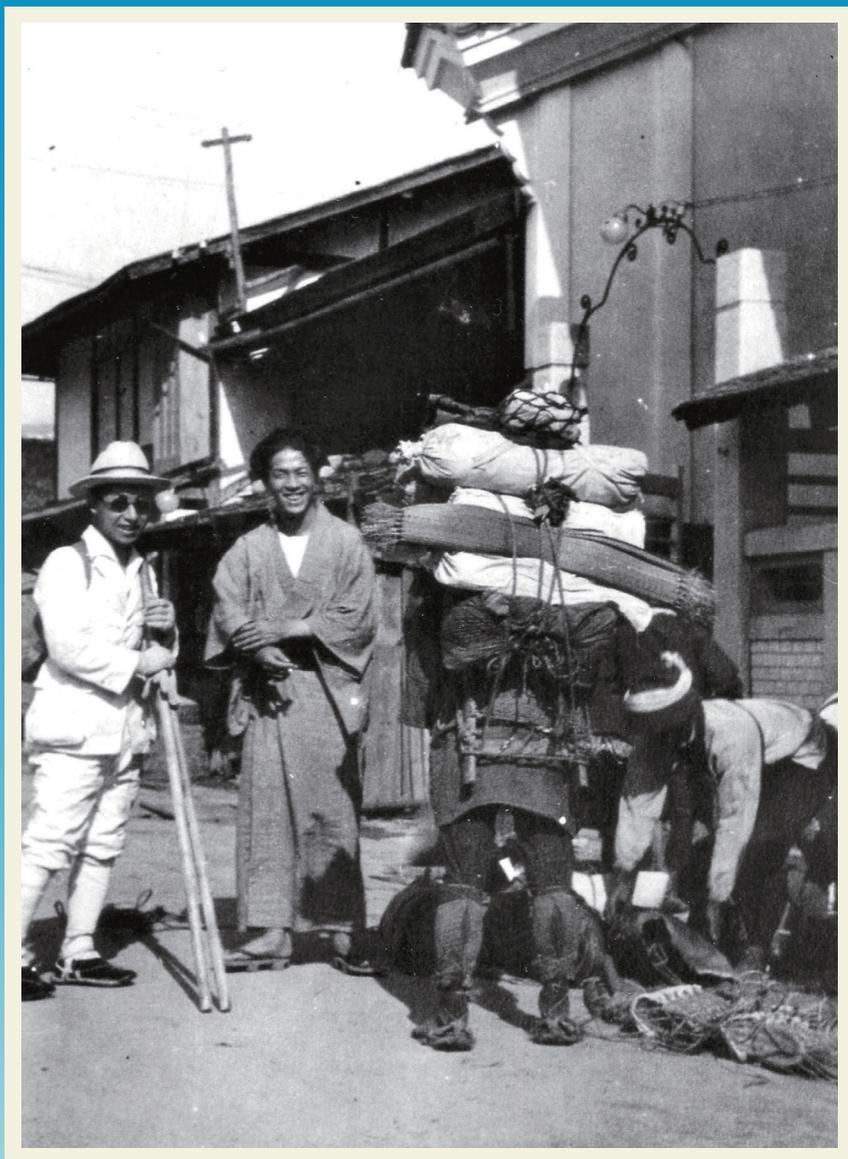
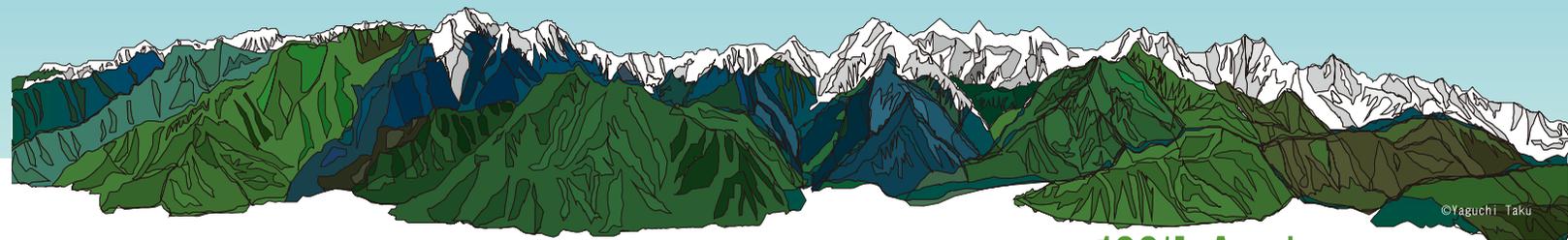


写真:登山者(左端)を送り出す百瀬慎太郎(左から2人目)と荷を担ぐ登山案内人たち(昭和初期 対山館前にて)【個人蔵】



©Yaguchi Taku

100th Anniversary

会期 2017(平成29)年 8月5日(土)～11月26日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

会場 市立大町山岳博物館 特別展示室

観覧料 大人400円 高校生300円 小・中学生200円

共催 市立大町山岳博物館 大町登山案内人組合創立100周年記念事業実行委員会

※会期中の月曜日、祝日の翌日は休館。ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館。なお、8月は無休

午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)



大町山岳博物館

※常設展示と共通、30名様以上の団体は各50円割引 そのほかの各種割引については窓口でお問い合わせください

北アルプスの百年 百瀬慎太郎と登山案内人たち

大町登山案内人組合は大正 6 (1917) 年、百瀬慎太郎が主唱して大町で設立されました(設立当時は大町登山案内者組合)。これは当時、増加する登山者の要望に応えるとともに地元登山案内人の資質向上を目指してのことで、こうした動きは全国に先駆けてのことでした。

本展では、同組合ゆかりの写真や品々を展示。今年創立100周年を迎える同組合の足跡とその存在を全国に発信するとともに、大町市周辺山域の山の魅力を紹介します。

今から約 1 世紀前、大正初期になると、北アルプス部分の正確な地図が発行されたり、山麓地域まで鉄道が延伸したり、さらに次々と山小屋が建設されたことなどで、夏山の登山者が急速に増加しました。北アルプスへの登山口である信州・大町にも多く登山者が訪れました。時代は、いわゆる大正登山ブームを迎えます。しかし、当時の登山はまだ危険をともなう野営による道筋を探しながらの探検的な登山が主でした。そのため、実際に登山を行うには、山の地理に精通し、山中での暮らしに熟練した案内人の存在が不可欠でした。

こうした時代の要請を敏感にとらえたのが、大町にかつてあった旅館・対山館の百瀬慎太郎(1892～1949年)でした。慎太郎が主唱し、大正 6 (1917) 年 6 月、大町登山案内者組合(現大町登山案内人組合)が大町で設立されました。これは当時、増加していた登山者の要望に応えるとともに地元登山案内人の資質向上を目指してのことでした。

設立時の加入者は 22 人で、事務所は対山館内に置かれました。慎太郎は組合の約束ごとをまとめた 18 の「規約」と、登山案内人として注意することを記した 13 の「心得」を考案しました。

大町登山案内者組合は、日本の近代登山における案内人という登山ガイドの同職集団としては最初に団体組織されたもので、その設立は画期的でした。こうした組合による組織的な活動は、当時、登山者にとって登山がより快適になるとともに、安全面でも大きな役割を果たすようになりました。

その後、戦中・戦後の過渡期を経て、平成 6 (1994) 年に規約を改正して再出発が切られた際、会の名称は「大町登山案内人組合」に定められました。現在、同組合の事務局は JR 信濃大町駅駅舎にある大町市観光協会内に置かれ、登山案内人約 40 人が活動しています。同組合所属メンバーはガイド以外にも、登山道を直したりする登山環境の整備や、登山口や駅前で登山相談など遭難防止といった面、さらには救助隊員として、地域社会の発展につながる活動を行っています。

グリーンシーズンから紅葉シーズンにかけての信州への観光の折に、あるいは夏山・秋山シーズンの北アルプス登山の行き帰りの際に、ぜひ当館へお立ち寄りいただき、本展をご覧いただければ幸いです。

きっと、後立山連峰の麓、「岳(たけ)」のまち・大町市ならではの「山岳文化」の一端にふれていただけることと思います。

■展示構成

- 第 1 章 日本近代登山の幕開け
- 第 2 章 大町登山案内人組合の誕生
- 第 3 章 岳都おまち

■主な展示資料

※下記は全て市立大町山岳博物館蔵

- 1 百瀬慎太郎が意匠考案したと思われる手ぬぐい
- 2 大沢小屋前に設置された百瀬慎太郎レリーフの複製(石膏着色)
- 3 案内人料金表 左:1951(昭和26)年/右:1952(昭和27)年
- 4 案内人・西澤彰使用 カナカンジキ(三本爪)
- 5 案内人・櫻井一雄使用 てぶ皮(カモンカ毛皮製)
- 6 案内人・平林高吉使用 大町登山案内者組合の印半纏(しんぱんてん) ほか



企画展開連の催しご案内

■オープニングセレモニー

日時 8月5日(土) 午前9時～午前9時45分
会場 市立大町山岳博物館 玄関 ほか(雨天時:講堂・ホール ほか)

■ミュージアムトーク

大町登山案内人組合所属の登山ガイドが組合のあゆみや現在の活動、大町市周辺の山岳の様子について解説します。 ※事前申込み不要。当日直接ご参加ください。ただし、通常観覧料が必要です。

期日 8月5日(土) 9月17日(日) 10月7日(土) 11月3日(金・祝)
時間 各日とも 1回目…午前10時～ 2回目…午後2時～
※各回の所要時間は20分程度、午前・午後とも内容は同じ。
会場 市立大町山岳博物館 特別展示室(企画展会場)

その他 大町登山案内人組合創立100周年記念事業関連の主な各種催しご案内

□信濃大町山フェス 北アルプス100年祭

期日 9月30日(土)・10月1日(日) / 会場 大町市文化会館(長野県大町市大町1601-2) 周辺 ほか
内容 登山道具街、山ファッションショー、山トークショー、学生山岳サミット、山麓の食ブース、地酒&物産街、山フェスロゲイニング その他
問合せ 大町市観光課 電話0261-22-0420(代表)

□長野県山岳総合センター 野外活動講座「もっと知りたい、大町の山!」(全2回シリーズ)

◇シリーズ1「信濃大町の山と人 100年の歩み」 ※申込締切…8月4日(金)まで

日時 8月11日(金・祝(山の日)) 午前9時10分～正午
会場 長野県山岳総合センター(受付)・市立大町山岳博物館 / 対象・定員 関心のある人ならどなたでも 先着30人
内容 講義「信濃大町の山と人 100年の歩み」ほか / 費用 500円(博物館観覧料を含む)

◇シリーズ2「湯俣へ 近代登山と電源開発の道を辿る」 ※申込締切…8月28日(月)まで

期日 9月9日(土)・10日(日) 《1泊2日》
行程 1日目:七倉駐車場集合7:40→高瀬ダム・湯俣温泉 晴嵐荘(泊) 2日目:湯俣温泉 晴嵐荘→噴湯丘(見学・解説)→七倉駐車場
※往復とも高瀬ダム～湯俣間は多少の起伏のあるトレッキングコースを片道4～5時間程度歩きます。

対象・定員 行程を歩行可能な人 先着15人 / 費用 12,000円(受講料、保険料等含む、当日集金) ※宿泊代・交通費として別途10,000円が必要です。
持ち物 登山に必要な装備、2日間の昼食・行動食、登山に適した服装でご参加ください。

[申込方法:山岳総合センターのホームページから。このほか受講申込書に必要事項を記入し、ファクスまたは郵送でも申し込みます。]

[問合せ・申込先:長野県山岳総合センター 〒398-0002長野県大町市大町8056-1]

電話 0261-22-2773 FAX 0261-22-5444 URL <http://www.sangakusogocenter.com/>

□100周年記念プレミアムツアー [詳細問合せ・申込先:北アルプス総合案内所 電話03-3538-5200 URL <http://www.kita-alps.com/>]

- ◇「大町登山案内人と百瀬慎太郎をたどる3日間」 7月14日(金)～16日(日) 《2泊3日》 コース:扇沢→大沢小屋→蓮華岳→針ノ木小屋→針ノ木岳→扇沢
- ◇「大町案内人とあこがれの裏銀座」 8月4日(金)～7日(日) 《3泊4日》 コース:七倉→烏帽子小屋→野口五郎岳→湯俣→七倉
- ◇「地元ガイドと名峰結び カクネ里眺める旅」 9月1日(金)～4日(月) 《3泊4日》 コース:扇沢→爺ヶ岳→鹿島槍ヶ岳→五龍岳→遠見尾根→白馬村
- ◇「大町のガイドと伝説の大姥山へ」 11月3日(金・祝)・4日(土) 《1泊2日》 コース:唐花見湿原→大姥山



【交通のご案内】

JR 大系線・信濃大町駅から
タクシー 5分 徒歩 25分
長野自動車道・安曇野 IC から 約 40分
北陸自動車道・糸魚川 IC から 約 95分
上越自動車道・長野 IC から 約 80分